

モデル	FALL3D		Tephra2
機関	イタリア国立地球物理学火山学研究所 (INGV)、バルセロナスーパーコンピュータセンター (BSC)		南フロリダ大学 (USF)
特性			
事業	ブエノスアイレス航空路火山灰情報センター (VAAC)、イタリア国立地球物理学火山学研究所 (INGV) など		イタリア国立地球物理学火山学研究所 (INGV)
製品	航空路火山灰情報 (VAA)、ハザードマップ		ハザードマップ
数値モデル	オイラーモデル		オイラーモデル
範囲	地域型・現地型		現地型
力学・物理過程			
移流	水平	3次元の風 (二次有限差分明示スキーム)	2次元の統一的な風
	垂直		×
拡散	水平		
	垂直		×
重力落下	終端降下速度		
	粒子密度		
	粒子形状		
乾性沈着			×
湿性沈着	ウォッシュアウト		×
	レインアウト	×	×
凝集		Costaほか	Bonadonnaほか
再飛散		Folchほか	×
格子点値の入力			
初期値供給源モデルパラメータ			
実噴火を用いた研究例 (1980以降)	①セントヘレンズ1980、②チチヨン1982、③エトナ1990、1998、2001-03、④スパー1992、⑤ピナツボ1991、⑥ヘクラ2000、⑦チャイテン2008、⑧リダウト2009、⑨エイヤヒヤトラヨークトル2010、⑩新燃岳2011、⑪プジェウエ=コルドン・カウジェ2011-12など		①伊豆大島1986、②エトナ1990、1998、2002-03、2007、③セロ・ネグロ1992、④ルアペフ1996、⑤ヘクラ2000、⑥プジェウエ=コルドン・カウジェ2011など

<p>関連論文</p>	<p>①Costaほか (2006) 、② Scolloほか (2008、2009) 、③Folchほか (2008a・b、2009、2010、2012、2014a・b) 、④ Macedonioほか (2008) 、⑤ Bonasiaほか (2012) 、⑥ Collimほか (2013) 、⑦ Osoroesほか (2013) 、⑧ BonaddonaとCosta (2013) 、⑨服部ほか (2014) など</p>	<p>①Connorほか (2001) 、② Bonadonnaほか (2005) 、③ ConnorとConnor (2006) 、④Scolloほか (2008、2009) 、⑤BonadonnaとCosta (2013) 、⑥萬年 (2013) など</p>
<p>コンピュータ言語</p>	<p>フォートラン言語</p>	<p>C言語</p>
<p>ソースコード</p>	<p>オープン</p>	<p>オープン</p>